

支部戦略プラン（支部健康づくり戦略）策定に向けた 意見交換について



令和8年10月23日
全国健康保険協会秋田支部

1. 秋田支部 令和8年度 課題シート（案）

	課題
1	◎生活習慣病のリスク因子保有率が高い。中でも血圧リスク因子保有率及びメタボリックリスク因子保有率の割合が全国平均を大きく上回り、ここ数年ワースト1位、2位の状態が続いている。課題解決のためには、データヘルス計画の目標としている血圧データの改善を中心に取り組みが必要である。 【令和7年度スコアリングレポート】 ・血圧リスク因子保有者の割合：男性63.6%（全国平均55.3%、全国ワースト1位）、女性44.6%（全国平均37.2%、全国ワースト2位） ・メタボリックリスク因子保有者の割合：男性29.2%（全国平均24.4%、全国ワースト2位）、女性8.9%（全国平均6.7%全国ワースト2位） ・運動習慣要改善者の割合：男性66.9%（全国平均62.4%、全国ワースト5位）女性76.6%（全国平均70.2%、全国ワースト5位） ・腹囲リスク、代謝（血糖）リスク、脂質リスク因子保有者の割合が全国平均と比べ男女ともに高い。 【令和7年度秋田県人口動態統計】 ・脳血管疾患による死亡率は人口10万人当たり157.6人（全国平均84.1人、全国ワースト2位） ・糖尿病による死亡率は人口10万人あたり17.0人（全国平均12.2人、全国ワースト7位） 【令和6年度国民健康・栄養調査結果】 ・秋田県の塩分摂取量：男性11.7g（全国平均10.5g、全国ワースト1位）、女性9.8g（全国平均8.9g、全国ワースト1位） 【令和7年度支部データ】 ・地域差指数-1は特に県北地域が高い。 ・業態別リスク因子保有率は、「総合工事業」「社会保険・社会福祉・介護事業」の順に高い。
2	◎1人あたり医療費が高い。中でも被保険者の生活習慣病（新生物を含む）の医療費が高く、入院・入院外ともに医療費の約4割を占める。課題解決のためには、疾病の早期発見、早期治療につながる取り組みが必要である。 【令和7年度支部データ】 ・1人あたり医療費（年齢調整前）：242,649円（全国平均215,844円、全国ワースト1位） ・疾病分類別1人あたり医療費（年齢調整後）：新生物32,426円（全国平均28,611円）、内分泌、栄養及び代謝疾患17,928円（全国平均16,285円）、循環器系の疾患25,272円（全国平均25,011円） ・医療費に占める生活習慣病（新生物、高血圧症、高脂血症、心疾患、糖尿病、脳血管疾患）の割合：被保険者入院40.5%（全国平均36.7%）、外来37.6%（全国平均31.2%）、被扶養者入院24.3%（全国平均20.9%）、外来20.5%（全国平均15.7%） ・疾病分類別1人あたり医療費（年齢調整後）について、前年度と比較し、新生物、内分泌、栄養及び代謝疾患は全国平均との差がより開き、増加傾向にある。
3	◎生活習慣病予防健診実施率が他支部と比較し伸び悩んでいる。課題解決のためには、人間ドック健診の拡充と併せて生活習慣病予防健診の実施機関の開拓、機会の増加に向けた取り組みが必要である。 【令和7年度支部データ】 ・生活習慣病予防健診実施率：54.6%（全国平均59.7%、全国ワースト7位、東北6県中ワースト1位）。全体の健診実施率は高いが、事業者健診結果データ取得率で補っており、生活習慣病予防健診受診率は全国平均を下回っている。 ・中でも県央地域について、対象者が多くかつ受診率が低い。（県央：50.9%、県北：56.6%、県南：58.7%）

※情報系システムから取得できるデータ等により、他支部との比較や時系列比較を行い、自支部特有の課題を抽出。

2. 秋田支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

秋田支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

秋田県の課題でもある生活習慣病リスクに係る取り組みを行うことで、健康寿命の延伸を目指し、健康づくりサイクルの定着が図られ、加入者が健診後の適切な行動を自律的に取れている状態を目指します。また、そのために必要な事業主、経営者層の協力が得られる体制の構築を図ります。加えて医療提供体制の確保、充実に向けた取り組みを行うことで協会の理念である加入者及び事業主の利益の実現を図ります。

II) 戦略概要

- ・健康づくりサイクルに関する適切な行動を加入者が自立し続けられるよう、各種広報媒体を活用した積極的な情報発信に取り組みます。
- ・健康経営の更なる普及と理解を目指し、経営者層に対する働きかけや広報等事業を展開します。
- ・健診受診機会の確保と提供体制の充実を図るために健診機関等に対し、参入及び受け入れ枠拡大を働きかけます。
- ・地域における良質かつ効率的な医療提供体制の実現に向けた会議体への参画を行います。

2. 秋田支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《①健康の保持・増進》

[個人の特性に応じた支援]

- ・ デジタル技術や協会が保有する医療や健診、給付等のデータを活用し、加入者の年齢・性別・健康状態等の特性に応じた適時適切な支援を拡充します。特に、けんぽアプリを活用し、加入者と直接つながる環境を活かし、健診案内や予約、フォローアップ等を効率的かつ効果的にを行います。
- ・ データ分析に基づく課題を県、市町村、経済団体等の関係団体と共有することで、地域特性、課題解決に向けた一体的な取組を効果的に推進します。

[健康経営の推進]

- ・ 事業所に対し支部幹部職員から一般職員まで階層的なアプローチを行うことで、健康経営の更なる普及と理解を深めます。
- ・ 文書勧奨等による健康保険委員の委嘱拡大（カバー率向上）を図るとともに、コミュニケーションサイトを用いた健康保険委員との活動の活性化、連携強化を図ります。
- ・ 宣言事業所に対し、取り組みの振り返りシートやアンケートを行うことで、事業所毎の課題やニーズを把握し、具体的サポートを実施します。
- ・ 地域課題を経営者層と共有する活動により健康経営の普及を図ります。

2. 秋田支部 健康づくり戦略（案）

〔健診の拡充〕

- ・ 加入者に対する生活習慣病予防健診及び人間ドック健診の機会の拡充、質の向上を図るために健診機関に対し支部職員による働きかけを行います。併せて受診勧奨文書の送付や各種広報を行うことで利用促進を図ります。
- ・ 健診環境の改善と円滑な受診のため、商工団体、地域関係団体と連携した利便性の良い集合化の実現を目指します。
- ・ 施設型健診機関と同様な内容で受診できる検診車のさらなる広報と周知を図ります。
- ・ 被扶養者に対する生活習慣病予防健診及び人間ドック健診の開始に合わせて、健診機関の経営層に対し、健診受入枠拡大及び人間ドック健診参入に向けた働きかけを行います。

〔特定保健指導の量・質の向上〕

- ・ 健診当日の特定保健指導の実施を定着させます。
- ・ 事業所における特定保健指導に対する理解と協力が得られるよう事業主や各種団体に対し働きかけを行います。
- ・ 特定保健指導の積極的な利用に関する理解を得るために、指導の受入れが良い事業所の取組事例の紹介をすることで、利用勧奨を図ります。
- ・ 特定保健指導のスキル習得のための研修を、自営に加え外部委託先の保健師・管理栄養士も対象に実施することで質の向上を図ります。

2. 秋田支部 健康づくり戦略（案）

〔重症化予防の拡充〕

- ・事業主や各種団体に対する支部職員による働きかけにより、要精密検査・要治療者の早期の医療機関受診に対する理解の醸成や受診しやすい職場環境作りの働きかけを実施します。
- ・健康意識が高い事業所の取組事例の紹介や作成済み広報資材を活用した広報を行うことで、加入事業所に対し重症化予防に関する意識向上に努めます。
- ・健診結果（血圧、血糖、脂質、胸部エックス線検査、がん検診結果）で要精密検査・要治療と判断されながら、医療機関を受診していない者に対する受診勧奨を徹底します。
- ・健康づくりサイクル（特定保健指導、重症化予防）について、各種広報媒体を用いて情報発信をすることで意識の定着を図り、健診後の適切な行動につなげます。
- ・健診当日に高血圧等、生活習慣病リスク因子保有者に対して健診機関と共同し、精密検査の受診を促します。

〔ヘルスリテラシーの向上〕

- ・減塩や喫煙、運動習慣、食習慣など生活習慣病リスクに係るポピュレーションアプローチを行います。
- ・学齢期からの親世代を巻き込んだ健康教育を行うことで、子供だけでなくその家庭全体の健康的な生活習慣の定着、ヘルスリテラシーの向上を図ります。
- ・アンケート調査や協会が保有する医療や健診、給付等のデータを分析活用し、メンタルヘルス対策及び女性の健康づくりについて、その特性に応じた情報提供や取り組み支援を行います。

2. 秋田支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《②良質かつ効率的な医療の推進》

[医療提供体制の確保・充実に向けた取組]

- ・秋田県の抱える医療提供体制に関する課題に対し、地域ごとの医療費、健診データの分析結果を活用し地域医療構想調整会議等に参加し、医療提供体制の維持に繋がります。

[医療費の適正化]

- ・バイオ後続品（バイオシミラー）について、データ分析に基づく医療機関への働きかけを通じて使用促進を行うことで医療費の適正化を図ります。
- ・地域フォーミュラリの導入・運用に向けて、データ分析や情報提供、県や県薬剤師会、医療関係者と連携を図ることで、地域における医療の質の向上と標準化を目指します。